

## 第76回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）

- 第1 開催日時 令和5年3月22日（水）午後6時30分～午後7時45分
- 第2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール（オンライン形式を併用）
- 第3 出席委員 出席17人（欠席9人）  
[集合参加]  
佐々木善信（会長）、小林義明（副会長）、浅野秀美、北村柳介、  
小松日出雄、田中一枝、増田雅則、山内一昌、山田知英美  
荻原正樹（副会長）、河西保人、川鍋章人、外山慶範、田波利明、  
山賀則夫  
[オンライン参加]  
蔵貫隆子、佐藤翔一  
※ 名前の表示は、正副委員長を除き、選出区分別50音順
- 事務局 加藤孝一、加藤弘道、脇山浩明、伊東達也、岩崎誠、倉林真理子、  
高橋悠紀、竹内弘子
- 第4 会議の公開 公開
- 第5 傍聴人の数 3人
- 第6 次第
- 1 開会
  - 2 前回会議録の確認等
    - (1) タイムスケジュールの確認
    - (2) 第75回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）について
  - 3 協議事項
    - (1) リサイクルセンター整備実施計画（案）について
    - (2) 令和5年度施設見学会について
    - (3) 令和5年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて
  - 4 報告事項
    - (1) ごみ処理相互支援における令和4年度実績及び令和5年度予定について
    - (2) 施設の運転結果について
      - ア ごみ処理実績（令和4年4月～令和5年1月）について
      - イ 環境測定結果（令和4年4月～令和5年1月）について
    - (3) ふじみ衛生組合の温室効果ガス排出量等について
  - 5 その他
    - (1) 次回日程について

(2) 令和5年度ふじみまつり実行委員の選出について

## 6 閉会

### 配付資料

【資料1】 ふじみ衛生組合地元協議会委員名簿〔7期〕

【資料2】 第76回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール

【資料3】 第75回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）

【資料4-1】 リサイクルセンター整備実施計画（案）

【資料4-2】 実施計画（案）と実施計画（素案）の主な相違点

【資料5-1】 令和5年度地元協議会施設見学会行程（案）

【資料5-2】 遠東石塚グリーンペット株式会社事業紹介

【資料6】 令和5年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュール（案）

【資料7-1】 ごみ処理相互支援に関する協定書

【資料7-2】 ふじみ衛生組合と武蔵野市とのごみ処理相互支援について

【資料8-1】 ごみ処理実績（令和4年4月～令和5年1月）

【資料8-2】 環境測定結果（令和4年4月～令和5年1月）

【資料9】 ふじみ衛生組合の温室効果ガス排出量及び稼働実績

【資料10-1】 第10回ふじみまつり ふじみまつり成果と課題（要約版）

【資料10-2】 第10回ふじみまつり ふじみ衛生組合収支（歳入歳出）内訳

※【資料10-1】と【資料10-2】は、第75回地元協議会の「令和4年度第10回ふじみまつり実施報告」に係る追加資料です。

【参考資料1】 令和4年度事業概要（三鷹市生活環境部ごみ対策課）

【参考資料2】 令和4年度版調布市清掃事業概要（調布市環境部ごみ対策課）

## 第76回 ふじみ衛生組合地元協議会

令和5年3月22日

### 1 開会

#### 【事務局】

それでは、定刻となりましたので進めさせていただきます。

委員の皆様にはお忙しい中、地元協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今回、第76回ふじみ衛生組合地元協議会も、集合形式とオンライン形式を併用し開催いたしますので、よろしくお願いします。

次に、事務局から資料の確認をさせていただきます。事前送付しました、表紙が「第76回ふじみ衛生組合地元協議会次第」にホチキス留めにつづられている資料となります。

また、資料4-1、4-2につきましては、本日机上に配付させていただいております。オンラインの方にはメールで資料を送付させていただいております。

このほか、会場にいらっしゃっている委員については、地元協議会に関連した要綱、要領、協定書などをまとめた青いバインダーを机上配付しています。こちらのバインダーは、会議終了後回収させていただきます。

委員の皆様、資料はおそろいでしょうか。

それでは、会議に入らせていただきます。ここからは会長に進行をお願いいたします。

#### 【会長】

皆様、こんばんは。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

会議を進めるに当たり、私から委員の皆様と事務局にお伝えします。1つ目は、発言を希望される方は手を挙げていただき、私が指名をしてから発言するようお願いいたします。次に、本日は限られた時間の中で会議を進めたいことから、事務局は説明を簡潔に、委員は質問、意見を簡潔にするようお願いいたします。

それでは、本日の委員の出席状況について事務局より報告してください。

#### 【事務局】

オンライン会議の出席者は2人、会場へお集まりいただいた出席者は14人、合計16人でございます（後に委員1人が参加）。全委員は26人であり、半数以上が出席されています。

ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱第7条第2項に基づき、会議は有効に成立していますことを報告します。

【会長】

それでは、次に、次第をご覧ください。

本日の案件は、3の協議事項が3件、4の報告事項が3件、その他2件となっております。各案件について、ふじみ衛生組合地元協議会の傍聴等に関する取扱要領に基づき、本日の会議を公開とし、傍聴を承認したいと思います。委員の皆様、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

【会長】

ありがとうございます。異議なしと認め、本日の会議を公開とし、傍聴を承認します。

本日の傍聴希望者につきまして、事務局より報告、お願いします。

【事務局】

本日は、オンラインでの傍聴希望者が0人、会場での傍聴希望者が3人いらっしゃいます。

以上です。

【会長】

分かりました。

それでは、ふじみ衛生組合地元協議会の傍聴等に関する取扱要領に基づいて、傍聴の方に入室をしていただきます。お願いします。

（傍聴者入室）

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

## 2 前回会議録の確認等

### （1）タイムスケジュールの確認

【会長】

初めに、2の(1)タイムスケジュールの確認です。冊子資料の5ページ、資料2「ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール」をご覧ください。会議進行のため作成しておりますが、このタイムスケジュールに基づき、閉会の時間を20時15分の予定とさせていただきます。委員の皆様、会議の進行にご協力よろしくをお願いいたします。

## (2) 第75回ふじみ衛生組合地元協議会会議録(要旨)について

### 【会 長】

次に、次第2の(2)第75回ふじみ衛生組合地元協議会会議録についてです。前回1月16日開催の「第75回ふじみ衛生組合地元協議会の会議録(要旨)」について諮りたいと思います。お手元の資料3の7ページから36ページまでとなります。会議録の内容についてご指摘などありますでしょうか。ある方は挙手をお願いいたします。

(挙手なし)

特にないようでしたら、第75回ふじみ衛生組合地元協議会会議録を承認することとします。事務局で公開の手続を進めてください。

## 3 協議事項

### (1) リサイクルセンター整備実施計画(案)について

#### 【会 長】

次に、協議事項でございます。次第の3、リサイクルセンター整備実施計画(案)について事務局より説明をお願いします。

#### 【事 務 局】

それでは、協議事項の1点目、リサイクルセンター整備実施計画(案)について説明いたします。資料は、本日お配りしました資料4-1「リサイクルセンター整備実施計画(案)」、資料4-2「実施計画(案)と実施計画(素案)の主な相違点」の2つでございます。それでは、資料4-2「実施計画(案)と実施計画(素案)の主な相違点」を使用して説明させていただきます。

今回、素案から変更した点は4点でございます。まず1点目ですが、「更新予定範囲図」を修正いたしました。「実施計画(素案)」では、工事期間中の廃棄物

の運搬を効率的に行うため、黄色の更新予定地の外周を運搬車両が周回できるようにしていました。しかしながら、東八道路から入ってくる工事用の車両と接触する危険がございます。そこで、今回の「実施計画（案）」では、更新予定地の南側道路も工事エリアとし、廃棄物の運搬車両は通行できないようにすることで、安全性を確保しました。

続きまして、2点目は事業方式でございます。事業方式につきましては、「実施計画（素案）」では、事業方式及び事業者選定審議会の意見を踏まえて検討することとしておりました。このたび、3月6日に開催された第2回審議会で委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、事業方式につきましては、「DBM+運転業務監理方式」を採用することといたしました。

まず、用語の説明ですが、DBMの「D」はデザイン、設計です。DBMの「B」はビルド、建設です。DBMの「M」はメンテナンス、維持管理です。

それでは、3ページ「事業方式の主な相違点」をご覧ください。「DBM+運転業務監理方式」は、施設建設時に、設計業務、建設業務、維持管理業務をプラントメーカーに一括発注するとともに、運転時にふじみ衛生組合が民間事業者へ運転業務を委託する方法です。設計業務、建設業務、維持管理業務を一括発注することで、維持管理費を含め競争原理が働き、経費の縮減が期待できます。また、運転業務については、ふじみ衛生組合が発注者になることで、地域経済への貢献性も期待できます。

なお、焼却施設のクリーンプラザふじみは「DBO方式」を採用しました。DBOの「O」はオペレート、運営です。クリーンプラザふじみは、施設建設時に、設計業務、建設業務、維持管理業務に加え、運転業務も含め一括発注しました。その理由でございますが、クリーンプラザふじみの場合は、建て替えではなく新設でしたので、雇用の継続という課題はなかったためです。一方、今回のリサイクルセンターは建て替えですので、雇用の継続が課題であり、結果として、クリーンプラザふじみと違う事業方式となりました。

なお、「DBM+運転業務監理方式」の注意点としては、ふじみ衛生組合が委託する民間事業者をプラントメーカーが監理、すなわち監督、指導、教育をすることになりますので、業務内容及び責任の範囲を明確にする必要があると考えています。

続きまして、3点目は「事業費」でございます。2ページの事業費をご覧ください。今回採用することとしました「DBM+運転業務監理方式」を基に事業費を算出いたしました。建設費は103億円から124億円、運営費は、20年間で112億円から136億円となりました。

なお、運営期間につきましては今後審議会で検討する予定であり、変更になる場合があります。また、今後の物価変動等により、事業費が変更になる場合もございます。

続きまして、4点目は「残渣熱回収によるCO<sub>2</sub>排出量」でございます。「実施計画（素案）」では、グラフ左側の年度ごとのCO<sub>2</sub>排出量は、プラスチックとペットボトルの合計値に、グラフ右側のCO<sub>2</sub>排出量の累計はプラスチックとペットボトルの合計値に可燃ごみを加えた量になっていました。実施計画（案）では、整合性を取るために、右側のCO<sub>2</sub>排出量累計もプラスチックとペットボトルの合計値に変更しました。また、グラフ下、解説のペットボトルの排出量について、1,800トンと記載するべきところを、実施計画（素案）では誤って1,440トンと記載しておりましたので、今回、正しい数字の1,800トンと修正いたしました。

以上、簡単ではございますが、実施計画（案）の説明を終了いたします。

【会長】

事務局の説明は終わりました。リサイクルセンター整備実施計画（案）についてのご意見やご質問などある方は挙手をお願いいたします。

【A 委員】

先ほどの説明で、真ん中の案（DBM+運転業務管理方式）は、雇用の継続がポイントということですが、左の案（DBO方式）だと雇用の継続が確保できない恐れがあるということでしょうか。

【会長】

事務局、お願いします。

【事務局】

3ページ「事業方式の主な相違点」をご覧ください。クリーンプラザふじみが採用しているDBO方式ですと、運転業務につきましては、プラントメーカーが民間事業者が発注をするということになります。クリーンプラザふじみでは、「できるだけ地元の雇用に努めてください」ということで要求水準書は書きま

したが、実際には10%に満たないぐらいの地元雇用しかなかったというような実績もございます。

一方、真ん中のDBM+運転業務監理方式では、運転業務の発注者がふじみ衛生組合となりますので、例えば仕様書に「三鷹市内、調布市内の雇用を優先する」というようなことを具体的に書き込むことができますので、DBO方式に比べますと、DBM+運転業務監理方式のほうが地元雇用が図られるのではないかと考えています。

DBO方式は、プラントメーカーが運転業務を発注するので、地元の雇用がゼロというわけではないとは思いますが、やはり発注者がふじみ衛生組合かプラントメーカーかによって、やはりその辺の温度差はあるのかなというのが、実際にDBO方式を採用したクリーンプラザふじみで感じたところでございます。

**【A 委 員】**

人件費もコストですので、プラントメーカーが発注した方がコストが低く、直雇用の方が賃金が高くなるという恐れはありませんか。

**【事 務 局】**

恐れがないと言い切ることはできません。ただ、プラントメーカーが発注者にしろ、ふじみ衛生組合が発注者にしろ、適正な賃金を払うということは基本だと思います。ブラック企業になってはいけないと思いますので、その辺は要求水準の中でしっかり書き込んでいきたいと思っているところでございます。

**【A 委 員】**

もちろん、ブラックになる必要はないと思いますけれども、例えば運転業務を正社員ばかりで行うことになると、当然コストは高くなるので、契約社員やパート・アルバイトといった雇用のミックスをぜひ考えて、適切な人件費コストで運営していただきたいと思います。

**【事 務 局】**

貴重なご意見ありがとうございます。

**【会 長】**

ほかの方、ご意見ありますでしょうか。

B委員、お願いします。

**【B 委 員】**

リサイクルセンターに、既にいる従業員の雇用も考えないといけないので、真ん中（DBM+運転業務監理方式）を採用したいと理解しましたが、そのような事情はかなり濃厚にあると思いますが、いかがでしょうか。

**【事務局】**

現在のリサイクルセンターの運転業務は、三鷹市と調布市の会社が、1社ずつ入っているのですが、新しい施設となりますと、必ずしもその会社をお願いしなければいけないという理由はなくなると思います。今までは、何年と運転業務に携わり、非常に仕事に慣れているから、その会社を使いたいという理由が成り立ちましたが、新しい施設ですと、どこの会社がやっても初めてということですので、基本的に、運転業務を行う会社については、随意契約ではなくて入札によるものと考えているところでございます。

**【会長】**

よろしいですか。

ほかの方、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

特にないようでしたら、次に進みます。

**(2) 令和5年度施設見学会について**

令和5年度施設見学会に移ります。事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局】**

初めに使いました資料に戻りまして、37ページ、右上に資料5-1と記載の資料をお願いいたします。前回の第75回地元協議会において、見学先を遠東石塚グリーンペット株式会社に決定しました。視察日を、視察先との調整により6月16日の金曜日に決定させていただきました。

3のスケジュールをお願いします。到着が遅れないように余裕を持ったスケジュールとしております。大型バスで移動し、午後1時から1時間半程度の視察を行い、その後、ふじみ衛生組合に戻る形でスケジュールを組んでおります。

次に、4の参加予定人数ですが、(1)の地元協議会市民委員から(3)の事務局職員まで全員が参加する場合30人となります。視察先の受入人数が30人までとのことでしたので、欠席者が出た場合には、(4)のその他のところで委員以外の方の参加も可能となります。昨年の視察はコロナ禍ということで、地元協

議会及びふじみ衛生組合の職員以外は声かけをしませんでしたが、コロナ以前は地元協議会市民委員の知り合いへの声かけ等を行っていましたので、今回、各委員からお知り合いへの声かけによる、委員以外の参加を認めるかどうか、皆さんのご意見をいただき、決定させていただければと思います。

なお、参考までに、前回、日野市の視察の際には、委員26人中13人の参加があり、その他行政職員2人、ふじみ衛生組合職員10人が同行し、合計26人が参加しました。

5の今後の予定ですが、5月に各委員の出欠確認をさせていただきます。また、視察先への質問事項も皆様から事前にいただく予定であります。

次のページ、資料5-2として、視察先の遠東石塚グリーンペット株式会社の事業紹介を掲載しています。視察先のホームページにも会社の事業内容が掲載されていますので、参考にさせていただければと思います。なお、この工場は、ベールから再生レジンを作るまでの工程を行っている工場です。

43ページをお願いします。43ページの上のスライドをご覧ください。潰したペットボトルを縛った状態のもの「ベール」を受け入れし、下のスライドの左側の丸の中に写真がありまして、こちらの「フレーク」というひらひらした状態にし、それを右側の写真の「再生レジン」というビーズのような状態にするまでの工程を行っており、できた再生レジン等を売っている会社となります。

説明は以上です。

## 【会長】

ありがとうございます。

欠席の委員がいた場合に、委員の知り合いの方を見学会に呼んでもよいかということ協議してほしいとの話が事務局からありました。視察先の人数が30人ということですので、仮の話ですけれども、委員の半数ほどしか参加しなかったとなると、10人分ほど席が空いてしまうこととなります。従来からの経験則も加えて、多くの方に施設見学に参加してもらいたいと私は思いますが、皆さん、ご意見ありますでしょうか。ある方は挙手をお願いいたします。

(挙手なし)

特にご意見がないようですので、これから先は、事務局にお願いし、委員の方の参加状況に応じて、通知を出していただくという形にしていきたいと思いま

す。

いずれにしても、各委員から知人の方を誘っていただき、席を埋めたいことと併せてごみ環境の問題について少しでも関心を広げたいということから、30人の枠の中で事務局に調整を図ってもらうようにしたいと思います。

では、次に進みます。

### (3) 令和5年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて

#### 【会 長】

令和5年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

#### 【事 務 局】

それでは、お手元の資料6、45ページをお願いいたします。

令和5年度は、5月下旬から6月上旬、7月の下旬、11月、2月に地元協議会を予定しております。大きな内容としましては、第78回地元協議会では、リサイクルセンター整備実施計画（最終案）の報告、パブリックコメントや市民説明会の報告を予定しております。また、第79回地元協議会は、第8期の地元協議会委員のメンバーで開催する予定となっております。そのため、8月頃から各自治会に委員推薦のお願いをさせていただきます。ふじみ衛生組合では、8月頃から公募委員の募集を行う予定でございます。

また、6月には視察見学会を行う予定です。このほか、安全衛生専門委員会を6月下旬から7月上旬に開催する予定でございます。

なお、現段階での予定ですので、変更等生じる場合がありますので、ご理解のほどよろしくをお願いいたします。

説明は以上です。

#### 【会 長】

事務局の説明は終わりました。令和5年度の地元協議会及び安全衛生専門委員会スケジュールについて、ご意見やご質問などある方は挙手をお願いいたします。

(挙手なし)

特になければ、令和5年度はこのスケジュールでよろしいでしょうか。

では、これで進めることにしたいと思います。次回からこのスケジュールの「案」を取り外します。

他にご意見、ご質問などある方、ありますか。なければ、次に進みます。

#### 4 報告事項

##### (1) ごみ処理相互支援における令和4年度実績及び令和5年度予定について

###### 【会 長】

それでは、報告事項に入ります。

報告事項(1)のごみ処理相互支援における令和4年度実績及び令和5年度予定について、事務局より説明をお願いします。

###### 【事 務 局】

それでは、47ページ以降、資料7-1と資料7-2をご覧ください。武蔵野市とふじみ衛生組合との間では、資料7-1のとおり、平成25年3月に武蔵野市と協定を締結しており、年間約600トンを相互に受け入れることとしております。焼却炉の定期点検などにより稼働を停止することがあるため、可燃ごみの処理に支障を来さないようにするものです。

この協定に基づき、平成25年度以降、相互に搬入された可燃ごみの重量は、次の49ページ、資料7-2の表1のとおりでございます。本年度、令和4年度におきましても、それぞれ2回の定期点検の時期に合わせて、おおむね600トンずつを搬入いたしました。

また、相互支援の協定につきましては、1年ごとに双方とも異議の申し出がなければ、さらに1年間延長することとしておりまして、令和5年度につきましても、それぞれの点検日程に合わせて、表2のとおり、武蔵野市からふじみ衛生組合には5月と3月に300トンずつ、ふじみ衛生組合から武蔵野市へは6月と11月に300トンずつ搬入する予定としております。

武蔵野市との相互支援に関する説明は以上です。

###### 【会 長】

事務局の説明は終わりました。ごみ処理相互支援における令和4年度実績、令和5年度予定について、ご意見、ご質問ある方は挙手をお願いいたします。

特にないので、次に進みます。

## (2) 施設の運転結果について

### ア ごみ処理実績（令和4年4月～令和5年1月）

#### 【会 長】

(2) 施設の運転結果について、事務局より一括した説明をお願いします。

#### 【事 務 局】

令和4年4月から令和5年1月末までのごみ処理実績につきましてご報告させていただきます。資料は51ページからとなります。

こちらは、クリーンプラザふじみの処理実績速報値でございます。重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

まず、上段部分のグラフとその下の表ですが、こちらは令和4年4月から令和5年1月までのクリーンプラザふじみへの搬入量を示したものでございます。この期間における可燃ごみの搬入量の合計は6万3,538トンで、前年度の6万6,056トンに比べて3.8%の減となりました。その内訳といたしましては、三鷹市が2万4,686トンで3%の減、調布市が3万682トンで0.9%の減、リサイクルセンターから出る可燃性残渣が5,702トンで5.7%の減、その他といたしまして、広域支援による小平市の可燃ごみが2,469トンで、31.4%の減となりました。

また、市民1人1日当たりの可燃ごみは、三鷹市分が424グラムで2.8%の減、調布市分が421グラムで1%の減となっています。

次に、下のグラフと表をご覧ください。こちらは、焼却処理後の搬出量を表したものです。焼却灰、飛灰、鉄分の合計は6,797トンで、前年度の7,202トンに比べて5.6%の減となりました。

続きまして、52ページをお願いいたします。こちらは、可燃ごみの焼却量と、焼却に伴う発電量及び送電量を月別にお示ししたものです。まず、上段のグラフですが、6月と12月は設備の定期点検のため、焼却量、発電量は少なくなっており、前年度と同じ傾向を示しております。

次に、下段の表になります。令和4年4月から令和5年1月末までの焼却量の合計は6万2,110トンで、前年度の6万3,522トンに比べて2.2%の減、発電量の合計は3万4,033MWhで3.8%の減、表の右側、送電量の合計は2万5,271

MWhで、前年度に比べて5.9%の減となりました。

その内訳といたしましては、リサイクルセンターが783MWh、三鷹市防災公園が2,534MWh、電力事業者が2万1,954MWhでございます。

続きまして、53ページをお願いいたします。こちらは、リサイクルセンターの処理実績速報値でございます。上段のグラフの表と搬入量をご覧ください。搬入量の合計は1万4,655トンで、前年度と比較して5.5%の減となりました。内訳といたしましては、三鷹市が7,335トンで5.9%の減、調布市が7,320トンで5.1%の減となっています。市民1人1日当たりの搬出量は、三鷹市分が126グラムで、前年度に比べて5.6%の減、調布市分が100グラムで5.3%の減となっています。

次に、ページを1枚おめくりいただいた54ページから55ページには品目別の搬入量でございます。それぞれ粗大ごみ、不燃ごみ、プラスチック、ペットボトル、びん・缶の搬入実績と、市民1人1日当たりの排出量となります。

まず、54ページの粗大ごみですが、三鷹市の粗大ごみ搬入量が前年同期に比べて19.4%減少しました。こちらの要因につきましては、第75回地元協議会でもご説明申し上げましたとおり、三鷹市における手数料の制度変更によるものと考えております。

次に、不燃ごみ、プラスチックです。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は著しい増加傾向を示しておりましたが、現在は排出量も落ち着いた状態になりつつあり、平年並みの処理体制で対応可能な状況でございます。

続きまして、55ページになります。ペットボトルにつきましては、平成28年度以降増加傾向が長く続いております。今年度は前年同期に比べて0.3%の減となっており、高止まりの状態です。

その下のびん・缶ですが、令和3年度以降は減少傾向であり、5.4%の減となりました。

次に、搬出量の実績でございます。資料53ページにお戻りいただきまして、下の排出量のグラフと表をご覧ください。搬出量の合計は1万3,925トンで、前年度の1万4,909トンに比べて6.6%の減となりました。その内訳といたしましては、アルミ、鉄など、有価で売却している金属類の合計が1,749トンで、12.3%の減、無償で引渡しをしている容器包装リサイクル法の対象品目や、リチウムイオンバッテリーなどの二次電池の合計が5,946トンで6.1%の減。廃乾電池や小

型家電など、適正処理に係る費用を負担している、いわゆる逆有償の品目の合計は527トンで2.1%の減。リサイクルセンターからクリーンプラザふじみに搬出している可燃性残渣が5,702トンで、5.7%の減でございます。いずれも搬入量の減少に伴うものです。

令和4年4月から令和5年1月末までのごみ処理実績につきましては以上でございます。

## イ 環境測定結果（令和4年4月～令和5年1月）について

### 【事務局】

続きまして、イの環境測定結果、令和4年4月から令和5年1月までについて説明いたします。お手元の資料56ページから57ページまでの資料8-2「令和4年度環境測定結果」をお開きください。

前回の地元協議会では10月から11月分までについてご説明いたしましたので、本日は12月分及び1月分についてご報告させていただきます。

令和4年12月から令和5年1月までの休炉等の状況につきましては、まず、1号炉については、12月1日に立下げを行って年次点検を行い、17日に立上げを行って、再度点検のため、12月28日に立下げを行い、31日に立上げを行いました。

2号炉については、11月10日に立下げを行って年次点検を行っていましたが、12月19日に立上げを行いました。

タービンについては、12月1日に年次点検のため停止し、18日に再稼働いたしました。

次に、下の段、排ガス測定の結果をご覧ください。排ガス測定は1月に実施し、ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、窒素酸化物、鉛、カドミウム、亜鉛、水銀、一酸化炭素、ダイオキシン類とも全て自主規制値、基準値以下でございました。

次に、その下の段、騒音、振動、臭気、排水の測定結果をご覧ください。騒音、振動、臭気、排水の測定は1月に実施し、騒音、振動、臭気指数、排水とも全て基準値以下でございました。

次に、その下の段、周辺大気の測定結果ですが、58ページをご覧ください。1月に測定を行いました。三鷹市側では南浦小学校、調布市側ではしいの木公園において、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、二酸化窒素、塩化水素、ダイオキシン類、

水銀について測定を行いました。全て環境基準値以下でございました。

次に、56ページ、57ページに戻っていただき、一番下の段、放射能に関する測定でございます。測定は毎月実施し、焼却灰、飛灰、排ガス、排水においては不検出又は基準値以下、空間放射線量率についても全て基準値以下でございました。

私からの説明は以上でございます。

【会 長】

事務局の説明は終わりました。ごみ処理実績及び環境測定結果について、ご意見、ご質問などある方は挙手をお願いいたします。

特になければ、次に進みたいと思います。よろしいですか。

### (3) ふじみ衛生組合の温室効果ガス排出量等について

【会 長】

(3) ふじみ衛生組合の温室効果ガス排出量等について、事務局より説明をお願いします。

【事 務 局】

59ページの資料9をご覧ください。前回、第75回地元協議会において、ごみの搬入・搬出量、焼却量、発電量等を報告した際に、ふじみ衛生組合の温室効果ガス排出量についても報告をしてほしいとのご意見を委員からいただきました。

ふじみ衛生組合では、平成27年度に「ふじみ衛生組合地球温暖化対策実行計画」を策定し、令和2年度に第2次の計画を策定しましたので、平成28年度以降の温室効果ガス排出量について本日報告します。

では、表をご覧ください。表の1番上の温室効果ガス総排出量と、表の上から2番目のエネルギー起源二酸化炭素排出量は、下にグラフとして各年度の排出量を掲載しています。また、表には参考値として、各年度の可燃ごみ搬入量、焼却量、発電量、可燃ごみ焼却量1トン当たりの発電量を掲載しています。

資料中段の温室効果ガス総排出量のグラフをご覧ください。赤い横線が中間年度、令和7年度までの削減目標値、緑色の横線が最終年度、令和12年度までの削減目標値を示しています。令和3年度時点では、中間年度目標までの削減にはいたっておりません。温室効果ガス総排出量が増えた要因としては、右の枠内の

②に記載のとおり、広域支援による可燃ごみが増えたことが要因の1つとしてあります。温室効果ガスは、可燃ごみが増えること、また、可燃ごみ中に占めるプラスチックの割合が多くなると増えます。③に記載のとおり、廃プラスチックの焼却及び一般廃棄物の焼却に伴うCO<sub>2</sub>排出割合が99%を占めています。温室効果ガス削減のためには、可燃ごみ排出量とプラスチック混入量を削減する必要があります。

今後の温室効果ガス総排出量の削減の見込みについてご説明します。協議事項で使用しました別冊の資料4-1の23ページをお開きください。ふじみ衛生組合の地球温暖化対策実行計画では目標年度を令和12年度としていますが、令和9年度に新たなリサイクルセンターの稼働を予定しており、これにより、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>の削減を見込んでいます。

一番下の表の現在の合計CO<sub>2</sub>排出量は年間1万2,820トン、新施設稼働後の合計CO<sub>2</sub>排出量は年間5,420トンと見込んでいますので、この差である7,400トンの温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>を1年間で削減できる予定です。

先ほどの資料の59ページに戻ります。上の表の令和3年度の温室効果ガス総排出量3万3,610トンから7,400トンを引くと2万6,210トンとなり、令和12年度の目標値である2万9,794トンよりも削減できる見込みとなっております。

次に、59ページの下グラフ、エネルギー起源二酸化炭素排出量をご覧ください。こちらは、電気、都市ガス、ガソリン、灯油、軽油といった使用した燃料を基に算出した値です。赤い線が最終年度、令和12年度までの削減目標値を示しています。この目標値は令和元年度の実績を基に定めています。平成26年度から比較すると、ふじみ衛生組合の自助努力により6割弱削減しています。削減の理由は、右の枠内の②に記載のとおり、水銀制御システム導入により、焼却炉の緊急停止を減らすことができ、焼却炉の立ち上げのための灯油使用量が減ったこと、③に記載のとおり、計画的な焼却炉の運転を行ったことにより、購入する電力が削減されたことなどがあります。エネルギー起源二酸化炭素排出量については、目標達成に向けて、引き続き現状の取組を行ってまいります。

最後に、ふじみ衛生組合では、温室効果ガス削減のため、国、東京都、その他自治体等の新たな取組について研究するとともに、三鷹市、調布市とも協力し、施策を推進してまいります。

説明は以上です。

【会 長】

事務局の説明は終わりました。ふじみ衛生組合の温室効果ガス排出量についてへのご意見やご質問などある方は挙手をお願いいたします。

【A 委 員】

59ページの真ん中の表で、小平・村山・大和衛生組合の広域支援によってごみ焼却量が増えたとありますが、自分たちの理由ではなく、他の自治体から入ってきたものによって増えたわけですから、これは当然、違う要素なので、これからも起こり得るのなら、その分はマイナスして考えるべきなのではないでしょうか。

【事 務 局】

そういう考え方もございますので、分けて書くことは可能ですが、地球温暖化対策実行計画上は、そういったマイナス要因を除くことができないという一定のルールに基づいて書いております。地元協議会用に分かりやすい資料を作ることには可能ですので、今後、そういった部分を除いた形で資料を作り変えていきたいと思っております。

【A 委 員】

分かりました。もう一つ、全く違う観点で質問ですが、CO<sub>2</sub>が削減できると、削減量を債権として売ることができるようになると思っておりますけれども、その辺のところは検討されていらっしゃいますか。

【事 務 局】

CO<sub>2</sub>の排出権取引の関係ですが、私どもも、どちらかという、排出している量が非常に多い自治体でございますので、購入して減らすという方向性はなきにしもあらずですが、できるだけ実際に減らしていきたいということで、将来的に例えば煙突から出ている排ガス中のCO<sub>2</sub>を回収して、それを売るといような時代が来れば、排出権取引にも対応できるような技術になると思っておりますが、今のところ、そこまで技術のほうが進んでいないというのが実情でございます。

【A 委 員】

そうすると、具体的には「買う」という立場になりますか。

【事 務 局】

もし、カーボンニュートラルをするためには、現時点の技術では買わざるを得ないというのが現状でございます。

【A 委 員】

了解しました。

【会 長】

B委員、お願いします。

【B 委 員】

私どもは、ごみ発電をしていますけれども、それによるCO<sub>2</sub>の削減という効果があるのですが、どういう計算になっているのか、全くそれは無視されているのか、教えていただきたいです。

【事 務 局】

発電に伴うCO<sub>2</sub>の削減量は、地球温暖化対策実行計画ではマイナスが認められていません。したがって、これも皆さんでそういう資料が欲しいということであれば、発電した電力に係るマイナス要因を加味した形で別途資料を作ることは可能ですので、今後、地元協議会の資料として、そういった視点でも資料提供できると思っています。今のこの資料の中には、マイナス要因としては一切計算されておられません。

【B 委 員】

ごみを燃やすときにCO<sub>2</sub>が発生するかしないかというのも非常に大事なことでと思います。したがって、ごみ発電をしているということをしちゃんと説明して、その効果はどうだということを別の資料で結構ですので、お願いしたいと思います。

それで、ごみ発電の発電量は分かりましたが、発電エネルギーとの割合、つまり、パーセンテージは、分かっているのでしょうか。

【事 務 局】

まず、1点目のご質問でございますが、発電に伴ってCO<sub>2</sub>を減らせるという文言については、基となる地球温暖化対策実行計画の報告書のほうには書いてあったと思いますので、次回以降、確認をさせていただいてご報告させていただきたいと思います。

2点目の、実際に焼却に伴って発生した熱エネルギーのうち、どのぐらいが発

電に回っているかというお話でございますが、大体20%程度が発電に回っているという状況でございます。

以上です。

【B 委員】

20%というのは、計算値ですか。

【事務局】

計算値になります。加えて、蒸気の発生量を毎日測定しておりますので、蒸気の発生量からも大体20%ぐらい回収できているという実績もございます。

【会長】

よろしいですか。

特になければ、次に進みたいと思います。

その他、次回日程について事務局より説明をお願いします。

## 5 その他

### (1) 次回日程について

【事務局】

それでは、お手元の資料6、45ページをお願いいたします。令和5年度ふじみ衛生組合地元協議会及び安全衛生専門委員会スケジュールでございます。次回の第77回地元協議会の開催日については、正副会長と相談いたしまして、5月31日（水）または6月1日（木）の午後6時半からで日程を調整させていただきたいと存じます。なお、5月8日から新型コロナウイルス感染症の扱いが2類相当から5類に引下げとなります。今年度の地元協議会では、オンラインの不備による音声や画像の乱れが発生することが何度かありまして、皆様大変ご迷惑をおかけすることもございました。会場にお集まりいただければ、その心配はなくなるかと思えます。このため、来年度の開催方法について、委員の皆様から本日ご意見をいただき、それを踏まえて次回以降の開催方法について決定させていただければと思えます。

私からは以上でございます。

【会長】

ただいま事務局より、新型コロナウイルス感染症の扱いが2類相当から5類

に引下げになるとの話がありました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、地元協議会においては、令和3年度からオンラインを併用した会議形式を行ってきましたが、次回以降の地元協議会において、オンライン併用を続けていくか、オンラインは併用せず、集合形式のみの会議とするか、皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。

C委員、どうぞ。

【C 委 員】

私自身は、できるだけ高齢者の方の中に入る機会を減らしたいことと、私用で時間のやりくりが難しく、オンラインのほうが参加しやすいので、オンラインを併用していただきたいと思います。

【会 長】

分かりました。

ほかにご意見はありますか。

B委員、お願いします。

【B 委 員】

コロナに限らず、最近はオンラインで仕事することも増えていきますし、やはり併用がよろしいと思います。できるだけ来場してもらえけれども、オンラインも併用してよいのではないのでしょうか。

【A 委 員】

どこの会社もやっていると思いますけれど、オンライン上のシステム環境で参加者側に問題があったときは、主催者側は免責としたほうが良いと思います。どちらの責任か分からないのに、「私は参加できなかった」ということが起こるので、システム上の不備がどちらにあるかということを明確にして、参加者側の問題で参加できなかったときは、会議としては免責としたほうが良いと思います。

【会 長】

私はアナログ派なので、個人的には集合形式が良いと思っていますが、今のA委員からのご意見も踏まえて、従来どおり、集合形式とオンライン形式の併用としますが、できれば顔を合わせて、顔色もうかがいながら集まって行きたいと思っています。

もし、オンライン上でトラブルがあったときは、どちらに原因があるのか分かるものですか。

【A 委員】

この会場とほかのZoom参加の人がつながっている中で、その人だけがつながらないのは、多分、そちら側の問題だと推定するしかないと思います。

【会長】

C委員、もし、オンラインで十分に参加できなかったときの判断として、今の話を前提にするということによろしいですか。

【C 委員】

はい。

【会長】

ありがとうございます。

それでは、皆さんもその辺を踏まえて、オンライン参加も含むということにしたいと思いますが、事務局もそれによろしいでしょうか。

【事務局】

はい。

【会長】

次に、次回の地元協議会開催日ですが、6月1日(木)または5月31日(水)のいずれかで調整したいと思います。できるだけ多くの方にご参加いただけるよう、皆さんの参加を募りたいと思いますが、6月1日(木)のご都合が悪い方、挙手をお願いします。

(挙手なし)

それでは、次回は6月1日(木)に決定することとします。委員の皆様には、後日、事務局より開催通知がありますので、確認くださるようお願いいたします。

## (2) 令和5年度ふじまつり実行委員の選出について

【会長】

次に、ふじまつり実行委員の選出について、事務局より説明をお願いいたします。

## 【事務局】

それでは、実行委員選出の話をする前に、前回のふじみまつりのご報告の追加資料についてお話しさせていただきます。61ページ～64ページの資料10-1「第10回ふじみまつり成果と課題」と、65ページの資料10-2「収支内訳表」は、前回、第10回ふじみまつりについてご報告した際に追加資料でご要望があったため、本日、追加資料として添付させていただいております。

なお、61ページ～64ページの資料10-1「第10回ふじみまつり成果と課題」は、ふじみまつり実行委員会の反省会が出たご意見と来場者アンケートに記載のご意見、出店いただいた皆様からのご意見、そして、まつり当日、従事した職員から出された改善を要する気がついた点などをまとめて、それらの課題等を整理した上で、要約版として作成したものでございます。

本日、この場はふじみまつりの協議の場ではないため、説明は省略させていただきますが、4月に開催を予定しておりますふじみまつり実行委員会において、ふじみまつりの課題とその改善方法について議題として設定し、大いに議論させていただいて、アイデア等を実行委員会の皆様から出していただきたいと思っております。

あわせて、ふじみまつりの予算についても、第1回目のふじみまつり実行委員会の会議当初からお示しをし、ご説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、そういったふじみまつりの諸課題についても議論していただく令和5年度のふじみまつり実行委員会の委員の皆様を本日、選出していただきたいと思っております。ふじみまつりの概要につきましては、前回、ご報告の中で時間をかけて説明させていただきましたので、本日は口頭だけで短めにご説明させていただきます。

ふじみ衛生組合では、環境に配慮しながら施設運営を行うとともに、両市の市民の皆様身近で親しまれる施設を目指しております。この一環として、地域の皆様との交流を深め、さらなるごみ減量等の啓発活動の推進を図ることを目的として開催しております。ふじみまつりは、ふじみ衛生組合と地元協議会選出の委員の皆様などで構成されるふじみまつり実行委員会が主体となり、三鷹市、調布市、周辺地域及び関連団体の皆様のご協力により、各種啓発コーナー、ワーク



修正をお願いします。

【会 長】

事務局は、修正をお願いします。

【事 務 局】

修正いたします。

【会 長】

それでは、ほかに何か。

事務局、お願いします。

【事 務 局】

1点、ご報告をさせていただきます。第3回事業方式及び事業者選定審議会でございますが、先ほど地元協議会が6月1日（木）と決まりましたけれども、その翌日、6月2日（金）の午後の7時から、こちらの会場にて開催されます。傍聴可能でございますので、興味のある方はぜひ傍聴いただければと思っております。よろしく願いいたします。

【会 長】

ほかにありますか。

C委員、どうぞ。

【C 委 員】

最初に説明いただいた、資料4-2の3ページ、左側の運営方式（DBO方式）の運営時の発注仕様のところで、今までは長期契約で運営をしていたということだと思うのですが、真ん中（DBM+運転業務管理方式）に変えると、単年度契約となっていますけれども、どういうことなのかよく分からなかったです。単年度契約というのは、毎年、運営する人が替わるということでしょうか。

【会 長】

事務局、お願いします。

【事 務 局】

まず、クリーンプラザふじみで採用した左側のDBO方式でございますが、これはプラントメーカーが民間事業者と契約するということでございますので、ふじみ衛生組合の予算にかかわらず、原則、何年間でも長期契約をすることが可能でございます。

一方、真ん中のDBM+運転業務監理方式というのは、ふじみ衛生組合という地方自治体が業務を発注いたします。地方自治体の場合、原則は単年度、1年ごとの予算を組んでおりますので、基本的には長期契約をすることができません。そこで長期契約をするためには、※印の部分、債務負担行為というものを設定いたしますと、債務負担行為の範囲の中で長期契約を行うことは可能でございます。

したがって、こういった運転業務ですから、できれば慣れたところをお願いしたいということもございますので、基本的には単年度契約ではなくて、債務負担行為を組むことにより、ある程度の長期契約をしたいと考えているところでございます。

【会長】

C委員、よろしいですか。

【C委員】

その辺、メリット・デメリットというのはいらないのですか。行政なので、単年度ということ分かりますけれど、そのところがよく理解できませんでした。もう少し勉強します。

【会長】

意味が違っているかもしれませんが、例えばある物品の5年リース契約をする。でも、リース会社と公共団体とは1年ごとに契約を交わすというようなことですか。

【事務局】

業務的にリースの場合には、長期契約ができますので、5年なら5年、リース期間を通じて契約をいたします。特に維持管理業務の場合、長期契約をすることによって、例えば薬品ですとか、そういったものをまとめて買うことができますから、購入コストが下がるというメリットが出てくると思いますので、そういった視点からも、長期契約ができれば、それにこしたことはないですし、望ましいと考えているところでございます。

【A委員】

契約のテクニックの問題だから、あまり長期、短期にこだわらなくてもいいと思います。

【会 長】

それでは、ほかに、ございますか。

最後に事務局からお願いします。

【事 務 局】

特にございません。

## 6 閉会

【会 長】

それでは、以上をもちまして、第76回ふじみ衛生組合地元協議会を閉会いたします。

皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。

— 了 —